



# 月刊 織本

GEKKAN ORIMOTO

# 6

2015年6月1日 Vol.250

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



ハリエンジュ

## ナイチンゲールの言葉から

理事長・院長 高木 由利



春がとても短くて少し寂しかったのですが、その代わりに初夏の恵みをたくさん頂いています。私の大事にしている2本のジャスミンが、ずっと咲き続けてくれているからです。

\* \* \*

ナイチンゲールを知らない方は多分いないと思います。彼女は素晴らしいクリスチャンであり、哲学者で、イエス様のことを述べ伝えるために看護師になったことは大学時代の哲学の講義で聞いたことがありました。しかし、あれから凡そ40年間、私はナイチンゲールの教えについて深く考えたことはありませんでした。



フロレンス・ナイチンゲール

当院では年に2回、新人教育の時間があり、私と専務理事と看護部長がそれぞれ分担して新人達に織本病院について語ることになっています。今年もまた27人の新人達に凡そ1時間半で3人

が熱いメッセージを送りました。

そして3人目の田中看護部長がナイチンゲールの『看護覚え書』から分析して語ってくれたのです。それは、私にとって大きな発見でした。

ナイチンゲールが強調したのは...

### (1) 『自然』

人間という生命体が持っている“自然”であり、それは“自然治癒力”であると。この言葉は正に臨床医学の基本です。私は医師になった時、ある外科の教授から“医師は患者の持つ自然治癒力を妨げるような治療をしてはならない”と教わり、それは30年以上経った現在でも、私の医師の心得の基礎になっています。

### (2) 『生活』

人間の生命はその“生活”のあり方により健康にもなり不健康にもなる。つまり人間の生命は、その人の“生活”のあり方で人生の質を変化させる、“病気は生活が創る”という発想を大切にしました。これは現代病である生活習慣病についてナイチンゲールは医学と哲学から預言していたと考えます。

## (3) 『生命力』

人間が自然の中で与えられた力であり、生活活動を営む根源的なものと語られていました。

私は医師になって30年以上経過した今、新人のような心でナイチンゲールの思想と哲学と医学に深く感銘し、これを伝えるべく臨床の現場で患者さんの指導にあたろうと改めて決心したのです。

## 『医療・福祉の現場における接遇』 勉強会から感じたこと

施設管理課 主任 岡本 隆史



5月14日に職員を対象とした「医療・福祉の現場における接遇」勉強会を、(株)リブドゥコーポレーション・福祉ビジネス研究所の研究員の鴨志田真希様を講師に迎え開催しました。忙しい仕事の合間をぬって約70名の職員が参加し、大盛況な勉強会となりました。

そもそも“接遇”という言葉をご存じでしょうか。医業・サービス業・接客業などに従事する方は接遇という言葉に馴染み深いかもしれません。語意から意味するところは、“接”とは“人と接する”、“遇”とは“もてなす、待遇する”ということです。つまり“人と接するときどのようにおもてなしをするのか”を意味します。今回の勉強会のテーマである医療の現場における接遇とはつまり、“患者様に対してどのようにおもてなしをするのか、現場の心構え”ということです。

その勉強会の中で、メラビアンの法則が紹介されました。メラビアンの法則とは、初対面の人を認識する割合は、“見た目・表情”の視覚情報が55%、“声のトーン・口調”の聴覚情報が38%、“話の内容”の言語情報が7%という研究結果をもとにした概念で、初対面の人の印象は9割方、“見た目・表情”と“声のトーン・口調”で決まってしまうということです。しかも人の印象は出会ってから平均7秒程度で決まってしまうと言われ、その印象は簡単には覆らないものとも言われています。

初対面の人とはまず挨拶を交わしますが、メラビアンの法則によれば、この挨拶時の“見た目・表情”、“声のトーン・口調”でその人の印象が決まってしまうこ

とになります。接遇では、“明るく笑顔で挨拶をする”ことの重要性が言われますが、メラビアンの法則が裏付けるところです。

患者様が病院に求めるものは、第一に“治療”であると思いますが、職員を“信頼”して治療を受けられるのか、ということも大変重要であると思います。信頼できない人に治療されるほど不安なことはないと思います。この信頼は、職員の第一印象に大きく影響されるような気がします。メラビアンの法則によれば、何よりもまず患者様に“明るく笑顔で挨拶する”ことから始める必要があるのではと思いました。



治療に直接かかわるスタッフはもちろん、私のような事務系のスタッフでも“明るく笑顔で挨拶”をすることで、患者様の信頼を得る一助になればとも思います。織本病院の理念の一つに“患者様に満足して頂

る医療を実践する”がありますが、職員全員が接遇を正しく実践することが“患者様に満足して頂ける”ための第一歩ではないかと、勉強会を通して強く感じました。

当院で患者様に人気のメニューをご紹介します!!



# カレイのムニエル カポナータ添え

## 作り方

- ① ムキカレイはよく水気を取り、両面に塩、コショウ、しょうゆ、薄力粉をつける。
- ② フライパンにバターとサラダ油を入れ、表面をしっかりと焼き、弱火にして蓋をして焼き上げる。(4～5分)
- ③ ブロッコリーは食べやすい大きさに分け、茹でて塩をふっておく。
- ④ ズッキーニ、なす、たまねぎは1.5cm角に切り、しめじはほぐしておく。
- ⑤ 鍋にサラダ油、にんにくを入れて火にかけ、④を炒める。

火が通ってきたらトマトホールを入れサッと煮込み、パセリのみじん切り、塩、コショウ、コンソメを入れ味を調える。

- ⑥ 皿にカレイとを盛り、⑤のカポナータとブロッコリーを添えてできあがり。

## 材料 (1人前)

ムキカレイ	60g
塩	0.1g
コショウ	少々
こいくち醤油	1g
薄力粉	3g
バター	3g
サラダ油	2g
ブロッコリー	40g
塩	0.1g
ズッキーニ	10g
なす	20g
ぶなしめじ	5g
たまねぎ	5g
ホールトマト	15g
にんにく	0.3g
パセリ	少々
サラダ油	2g
塩	0.5g
コショウ	少々
コンソメ	0.5g

## 栄養量 (1人前)

エネルギー	156 kcal
蛋白質	14.0g
脂質	8.0g
糖質	4.9g
塩分	1.5g
カリウム	512 mg
リン	169 mg

※ このレシピは一般食のものです。  
治療食では分量・栄養量が異なります。



## 井上和広マネージャーからの ワンポイントアドバイス

カポナータとはイタリア語で“夏野菜の煮込み”のことです。フランス料理では“ラタトゥーユ”と言います。

作る時のポイントは、ホールトマトを入れたらあまり煮込み過ぎないことです。

今回はムキカレイを使用しましたが、カジキ、鯛などでも美味しくいただけます。

当院の夏の新作メニューです♪ぜひお試しください!!

# 禁煙外来のご案内

5/12(火)より  
再スタートしました!!

**害は分かっているのにタバコをやめられない方、  
禁煙しようか迷っている今!  
まずは当院の禁煙外来にご相談ください。**

喫煙はご本人の健康を害するだけでなく、周囲の人にも健康被害を与えています。また、肺がんをはじめとする様々な病気と深く関わりをもち、それら疾患の危険因子となっています。

禁煙を始めると、イライラしたり不安感などがあらわれ、つい「1本だけ」と再びタバコを吸ってしまうことも多いようです。喫煙者の70%はニコチン依存症で、タバコをやめられないのは、あなたの意志の弱さではなくニコチンの持つ強い依存性が原因です。このような喫煙習慣は『ニコチン依存症』と言われ、治療が必要とされています。

禁煙外来では、医師のアドバイスを受けながら貼り薬や内服薬などのお薬を使用することで、禁煙の辛さを和らげ、禁煙の成功率も高まります。お悩みの方はお気軽にご相談ください。



## 禁煙外来

うえすぎ ふ み こ

【担当医】 呼吸器内科 **上杉 夫彌子**  
(日本呼吸器学会 専門医)

【診察日】 毎週火曜日(午後) 予約可

【ご予約・お問合せ】 ☎ 042-491-2121

※ インターネットでのご予約も受付けております。  
詳しくは当院のホームページをご覧ください。

織本病院



## 第167回 腎疾患ゼミナール

### 腎不全の理解を深めましょう ⑤

腎臓内科：高木 由利

栄養科からのフンポイントアドバイス

#### 『でんぷん米入り

ハンバーグを作ろう!!』

管理栄養士：岡本 啓吾

レシピ・  
試食付き

2015年 6月11日(木)

午後1:00～2:00

オリモトホール (織本病院 4F)

参加費無料



## 糖尿病教室のご案内

テーマ

### 『検査のはなし』

講師：臨床検査技師

2015年 6月13日(土)

午後1:00～1:30

第1会議室 (織本病院 4F)

参加費無料

予約不要 (直接会場へお越しください)

